香川県情報誌

さぬき野

かがやくけん、かがわけん。
香川県

2024 No.85
夏

はじめの国立公園を見よ。

特集
天守で月夜を。丸亀城、城泊

知事対談
映画監督 今泉 力哉 × 香川県知事 池田 豊人

ヒト×モノ讃岐デザイン
透明な宇宙に心象風景を刻む

瀬戸内海国立公園
指定90周年

香川に住んで
はじめたこと

「食にも、瀬戸内の時代」
SANU（サヌ） 佐々木 祐紀（ゆうき）さん

SANUは、佐々木さん（左）が、妻の愛実子さん（中央）と、料理人仲間だった大屋圭司さん（右）を東京から呼び寄せ、3人で営んでいる。

東かがわ市の三本松（さんぼんまつ）駅のそばにある「SANU」は、東京都出身の佐々木祐紀さんが営む、予約制のイタリアンレストラン。2021年の開業以来、瀬戸内海の魚介と地元の野菜を使ってコース料理を提供している。

佐々木さんが料理に目覚めたのは、母親の夕食作りを手伝った子どもの頃。料理熱は高まり続け、調理師免許を取得できる高校に進学。卒業と共に働き始め、会員制の有名レストランで長く副料理長を務めた。

10年以上料理人としての経験を積み、海外に出て働こうと決めたが、渡航の直前にコロナ禍で出国不可能に。ならば日本で食材を学ぼうと長野県の農家でレタス作りに挑む。香川県に来たのはその後で、東かがわ市引田の醤油蔵で希少な製法のこうじ仕込みに携わるためだった。同時に、地元の漁師や農家を訪ねるうちに「ここは料理の可能性に満ちている」と感じSANUのオープンにつながった。

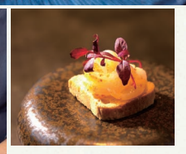
地元の人々と仲良くなり「香川でお店を開いて」と乞われたのも移住の動機。店は元うどん店。カウンターがライブキッチンの特等席に。

佐々木さんにとって香川は、腕が鳴る食材が生まれる現場。捕れたての豊富な魚介を漁師から直接手に入れ、こだわりの農法で野菜や果物を栽培する農家と親しくなることで、佐々木さんの料理の世界はより深みを増した。さらに瀬戸内海の美しい景色、そこで開かれる現代美術の芸術祭、モダニズム建築なども栄養になると言う。「料理はアート。創造に触れることが料理人の精神性も高めてくれる気がします」。

料理コンテストに参加し、東京オリンピックの選手村でも料理を担当するなど、外に飛び出す好奇心とチャレンジ精神も忘れない。さまざまな刺激を糧に作る佐々木さんの一皿が、これからも瀬戸内の新しい味の世界を広げてくれる。

SANUオーナーシェフ
佐々木祐紀さん

東京の会員制レストランのヴィーニ・ディ・アライの副料理長を11年務める。サンペレグリノヤングシェフアカデミー国際料理コンクールのセミファイナリストなど、料理コンクール入賞多数。



佐々木さんが創造する瀬戸内式のイタリア料理。かんきつの皮と香川特産のトウガラシ「香川本鷹（かがわほんたか）」を発酵させるなど、独自の調味料も作る。

SANU
香川県東かがわ市三本松1176-1

香川県情報誌
さぬき野 2024 No.85 夏

香川県に関する問い合わせ

香川県広聴広報課	〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3078
香川県のホームページ	https://www.pref.kagawa.lg.jp/
さぬき野のページ	https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/koho/sanukino.html
香川県東京事務所	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
香川県大阪事務所	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけます。
無料アプリ「カタログポケット」をインストールして「さぬき野」で検索してください。

iOS　Android

かがやくけん、かがわけん。
香川県

瀬戸内海は、1934年（昭和9年）に日本初の国立公園に指定されている。香川の名士・小西和（かなう）が中心となり、素晴らしい環境を後世に残そうとして力を尽くしたのだ。小西が著した「瀬戸内海論」の序文では、恩師である新渡戸稲造（にとべいなぞう）が「瀬戸内海は世界の宝石」と記しているが、今日、その言葉はさらに力強さを増した。瀬戸内海は、世界のメディアで称賛され、国を超えて多くの観光客が訪れるようになっている。美しい景観だけでなく、文化、歴史、産物、暮らしなど多彩な魅力があふれる海。ここには、心が動く出会いがある。

屋島（遊鶴亭）からの眺め

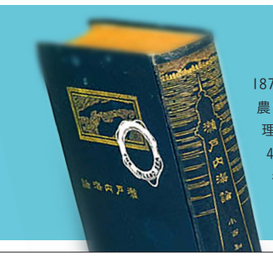
瀬戸内海国立公園指定90周年。

心が動く出会いがある。

美しい景観を次代へ。瀬戸内海国立公園の誕生物語。

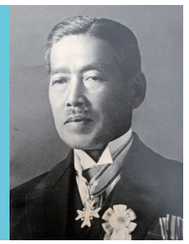
瀬戸内海は、国立公園の指定から今年で90周年を迎える。この国立公園指定に深く関わっているのが、香川の名士・小西和である。小西は、広大な風景が続く中国から帰郷する際に、見慣れていたはずの瀬戸内海の価値に改めて気付いたという。その後、6年の歳月をかけて瀬戸内海を調査し、15章1000ページからなる「瀬戸内海論」を上梓（じょうし）。そして衆議院議員になり、豊かな自然を保護し、次世代に残していくために瀬戸内海の国立公園化を提唱した。これらの働きかけが実り、1934年3月、日本初の国立公園の一つに瀬戸内海が指定されたのである。

当時の指定区域は、小豆島の寒霞渓、香川県の屋島、岡山県の鷲羽山（わしゅうざん）、広島県の鞆（とも）の浦・沼隈町周辺の備讃瀬戸を中心とした一帯であった。現在の指定範囲は1府10県にまたがり、海域を含めると90万ヘクタールを超え、国内で最も広い国立公園となっている。世界有数の観光地となった瀬戸内海。約100年前、その景観を保護する重要さにいち早く気づき、将来のために全力を傾けた小西は、瀬戸内海国立公園の父と呼ばれている。



小西和

1873年（明治6年）、現在のさぬき市長尾に生まれる。札幌農学校を卒業後、東京朝日新聞記者を経て、日本海洋会理事、南満州製糖取締役社長などを歴任。1912年（明治45年）から衆議院議員となり、7回の当選を数える。1911年（明治44年）に「瀬戸内海論」を発表。国会で瀬戸内海の国立公園化を最初に提唱した。



寒霞渓山頂からの眺め

津田湾の朝日

瀬戸大橋

サンポート高松

海あり、島あり、暮らしあり。

瀬戸内海の魅力を体感する旅。

瀬戸内海がたくさんの旅人を引きつけるのは、景観が美しいことだけが理由ではない。多角的な魅力が折り重なっており、思いがけない場所で心を動かされるからだ。例えば、源平合戦の古戦場であり、日本書紀に記される「屋嶋城（やしまのき）」が復元されている屋島山頂では、現代的なデザインの観光拠点「やしまーる」が出迎えてくれる。日本のウユニ塩湖と呼ばれる「父母ヶ浜（ちちぶがはま）」がある荘内半島は、浦島伝説の有力な候補地である。一つの興味から次々に見つかる旅の動機。日本が世界に誇る国立公園には、何度も訪れたくなる理由がある。

父母ヶ浜

人の数だけ美しさがある

どこから見るか、どんな季節・時間帯で見るかによって、瀬戸内海の景観は変化する。地元の人間であっても「自慢したい景観」は、人によって異なるのである。干潮時に現れるエンジェルロード、海を渡る瀬戸大橋、荘内半島の夕暮れなど有名な景観は数多いが、それらにとらわれる必要はない。旅の途中で心が動いた風景が、その人だけの瀬戸内海。人の数だけ、瀬戸内海の美しさがある。

それぞれに個性がある島々

瀬戸内海には、人口数人の島から、1万人以上が暮らす島まで、多くの島がある。それぞれに文化があり、産物があり、人々の暮らしがある。島巡りは、瀬戸内海の懐の深さを知る絶好の手段。アート、アクティビティ、歴史など、テーマを絞って行き先を決めて、ゆったりとした島時間に身を任せたい。

「階層・地層・層」ターニャ・ブレミンガー（沙弥島）

百花繚乱（りょうらん）の食文化

瀬戸内海は天然の冷蔵庫と呼ばれるほど、多くの海産物がとれる。また、穏やかな気候の下で農作物はすくすくと育つ。季節ごと、地域ごとに味わえる豊かな食文化が、瀬戸内海の旅の楽しみであるのは間違いない。夏が食べごろなのは、そうめん、マナガツオ、マダコ、モモなど。瀬戸内の完熟レモンから作る酒・リモンチェッロは、暑くなるほどおいしくなる。

リモンチェッロ

暮らしの中にも感動あり

いつも通りの地元の暮らしに触れることも、旅の彩りになる。男木島では、アート作品であるカラフルなオンバ（乳母車）を押す人がいる。こんぴらさんの参道に宿をとれば、早朝、厳かに響く時太鼓の音に気づくだろう。日々の暮らしは積み重ねた歴史と文化の先にある。心を澄ましてみて旅をすれば、すぐそばに感動が見つかる。

アートと暮らしが共存する風景にも出会える（男木島）

感性が刺激されるアートと文化

3年に1度の瀬戸内国際芸術祭は、まさに瀬戸内海国立公園の中で開催されている。香川・岡山と瀬戸内の島々を舞台に、そこから得たインスピレーションから生み出される多彩な作品。会期外でも多くの作品を鑑賞できるほか、地中美術館、豊島（てしま）美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、東山魁夷（かい）せとうち美術館などアートに触れられる施設は多い。自然と暮らしとアートが共存する特別な関係に、感性は磨かれる。

草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地
©YAYOI KUSAMA

教科書に出てくる歴史の舞台

白村江（はくそんこう）の戦いを契機に建設された屋嶋城、日本を二分する源平合戦、悲運の帝・崇徳上皇の流刑、幕末に太平洋を渡った咸臨丸（かんりんまる）を支えた水夫など。瀬戸内海は、教科書に出てくる数多くの出来事の舞台になっている。そして日本初となる国立公園の指定も歴史の一つ。小西和が100年前に夢見たロマンが、今に生きている。

郡田丹陵「屋島合戦画帖」（部分）
高松松平家歴史資料（香川県立ミュージアム保管）

瀬戸内海歴史民俗資料館

高松市屋島山上交流拠点施設（やしまーる）

大串半島（さぬき市）

エンジェルロード（小豆島）

指定90周年記念イベントで瀬戸内海国立公園を体感する。

瀬戸内海国立公園の指定90周年を記念して、年間を通じて香川県内で多彩なイベントが開催される。
旅の日程に合わせてイベントに参加すれば、より深く瀬戸内海の魅力を体感することができる。

瀬戸内海国立公園指定90周年記念シンポジウム
世界の宝石を守り、つなぐ
～持続可能な未来への船出～

開催日：7月15日（月・祝）13時～16時

場所：かがわ国際会議場（高松シンボルタワー タワー棟6F）
参加費：無料・要事前申込

フリーアナウンサー
中野 美奈子

香川大学創造工学部 教授・学部長
末永 慶寛

ココリコ
田中 直樹

【司会】フリーアナウンサー 中野美奈子氏
【基調講演】香川大学創造工学部 教授・学部長 末永慶寛氏「藻場造成と豊かな瀬戸内海への道」
【トークセッション】田中直樹氏（ココリコ）×香川県知事池田豊人
【パネルディスカッション】コーディネーター：末永慶寛氏
パネリスト：甘利彩子氏（NPO法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長）ほか

瀬戸内海×アートイベント

瀬戸内海国立公園指定90周年記念フォトコンテスト作品展
海洋漂着物を活用した体験型アートショー等を開催

開催日：7月15日（月・祝）10時～16時

場所：高松シンボルタワー展示場・デックスガレリア
参加費：無料

【問い合わせ】香川県みどり保全課 TEL087-832-3462

90周年記念花火大会

瀬戸内海国立公園指定90周年を花火でお祝いします。「瀬戸内海の国立公園化」を最初に提唱したのが、現在のさぬき市出身で、当時国会議員だった小西和。瀬戸内海国立公園指定に尽力した小西和の出身地、さぬき市で花火大会を開催します。

開催日：8月17日（土）

会場：津田の松原（さぬき市）

【問い合わせ】香川県みどり保全課 TEL087-832-3462

※当日は、できる限り公共交通機関をご利用ください。
※お車でお越しの方は、臨時駐車場をご利用ください。

～飛鳥Ⅱで行く鳥羽・高松秋紀行クルーズ～
クルーズ船での作家によるトークイベント

日本船籍最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」で、香川県・高松に寄港するツアーに合わせて、
瀬戸内海を舞台にした作品を執筆している作家 森沢明夫氏によるトークイベントを船内で開催します。

PHOTO BY TSUNEO NAKAMURA

行程

9月16日 横浜港 出港
17日 鳥羽港 入港・出港
18日 高松港 入港（停泊）
19日 高松港 出港
20日 クルージング
21日 横浜港 入港（到着）

トークイベント

1969年 千葉県生まれ。
2007年 瀬戸内海を舞台とした
「海を抱いたビー玉」で小説家デビュー。
人間ドラマを繊細に描く多彩な作品で読者を魅了。
高倉健主演映画の小説版『あなたへ』など、
多くの作品が映像化されている。

小説家
森沢 明夫

開催日：9月16日（月・祝）～21日（土） ツアー参加者募集中

【問い合わせ】郵船クルーズ株式会社 TEL045-640-5331（月～金10:30～17:00）

＼詳細はこちら／

島へ行こうキャンペーン

多島美を誇る瀬戸内海の素晴らしさを改めて感じてもらうため、
島お手伝い旅やクルーズツアーを実施予定。

開催時期：夏・秋頃

【問い合わせ】香川県観光振興課 TEL087-832-3362

大編成オーケストラと映像美で魅せる
瀬戸フィルハーモニー交響楽団「SETOUCHI」コンサート

四国初のプロオーケストラである瀬戸フィルハーモニー交響楽団が、ラヴェル作曲の名曲「ボレロ」を披露して瀬戸内海国立公園指定90周年を祝います。
また、瀬戸内の風景やイベント、人々の何げない瞬間を写し取った株式会社アミューズ製作のドキュメンタリー映画「SETOUCHI THE MOVIE」の上映に合わせて、ドビュッシー作曲の交響詩「海」をはじめとした名曲の数々をお届けします。
ほかにも県出身のピアニスト宮崎朋菜による幻想曲「瀬戸内ファンタジー」もお聴き逃しなく。
ぜひ、音楽と映像で瀬戸内の魅力を存分に体験してください！

©アミューズ

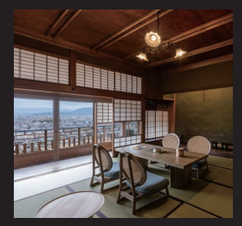
開催日：10月19日（土）
14時開演（16時終演予定）

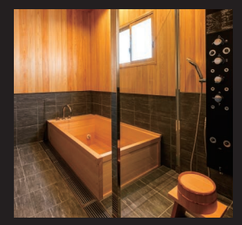
会場：レクザムホール 大ホール（高松市玉藻町）【入場無料】（要入場整理券）

【問い合わせ】香川県文化振興課 TEL087-832-3785
レクザムホールサービスセンター TEL087-823-5023

天守で月夜を。

丸亀城、城泊（はく）





江戸時代以前に築城された天守がそのまま残る城は、
国内に12あり「現存十二天守」と呼ばれる。
これらは歴史的な価値が高く、城郭や日本史の愛好家、
さらに日本文化に興味がある外国人観光客からも、
とりわけ熱いまなざしが向けられている。
その一つであり、石垣の名城として知られる丸亀城で、
この夏、城泊がスタートする。

城泊にあたり、ベッド、ソファを置き、ひのき風呂と洗面所を新設。壁の断熱材と床暖房も施され、快適に過ごせる。

上段／右・人力車で城に向かいつつ町を案内してくれる。中・コンシェルジュが待ち受ける大手一の門でチェックイン。左・勇壮な和太鼓演奏の後、演奏体験もできる。
下段／右、中右・京極藩の家紋入り香川漆器に、香川県産の食材を使った豪華な料理。中左、左・延寿閣別館からちょうちんの明かりで夜道をたどり、天守で夢のひとときを。

城泊とは文字通り城に泊まる体験だ。歴史ある丸亀城が名乗りを上げ、注目を浴びている。

1泊2日を基本とする城泊は唯一無二のもてなしにあふれ、チェックインまでの時間も特別な体験になる。JR丸亀駅でゲストを待ち受けるのは人力車。城下町を車上から眺めつつ優雅に城へと向かう。入城すると、大手一の門で地元の和太鼓保存会による歓迎の太鼓が打ち鳴らされ、まさに一国一城のお殿様になる滞在のスタートだ。

貴重な天守は、夕方と夜に貸し切りになる。まずは、江戸時代の初期に完成したとされる天守の内部をつぶさに見学する。丸亀城を知り尽くしたガイドの解説で、築400年に近い木造建築のいたるところに、往時の建築や軍事の技術を見い出せば、その時代を生きた藩主や技術者の思いさえリアルに感じられるだろう。

夜は一転、飲み物片手にくつろげるバーラウンジに変わる。階上から横笛の生演奏が響く中、城内の最も高い場所に鎮座する天守の窓から、月明かりに照らされる城下の町並みや瀬戸内海、瀬戸大橋まで眺められる。天守をプライベートな空間にして、そこに流れた壮大な時間に思いをはせれば、一生忘れることのない記憶になるだろう。

宿泊場所は、三の丸にある延寿閣別館。こちらも由緒正しき建物で、京極家の屋敷の一部を移築したものだ。繊細な細工の欄間、ぜいたくな金粉装飾のふすまなどに加え、床の間に6代藩主・京極高朗の書が掛けられているのも粋な演出である。

この空間をさらに輝かせるのが、地元企業や伝統工芸の職人による現代の銘品だ。玄関ののれんに始まり、雑貨や装飾品、アメニティの化粧品まで、ものづくりのプライドを一つにして、オール丸亀、オール香川でもてなしてくれる。さらに滞在2日目は、京極家の別邸として築かれた「中津万象園」で、伝統工芸品の丸亀うちわ作りと、かつての藩主が愛した煎茶のお点前も体験できる。

「芸術に造詣が深く、自由でおおらかな気風だった京極家。市民はこの地の歴史文化とその象徴である丸亀城に、愛着と誇りを持っています」と、城泊を運営する丸亀市観光協会の事務局長、山田哲也さん。城泊を通して、地域の魅力やプライドまで伝えよう、と町全体で意気込んでいる。

珍しい煎茶のお点前は、緑濃い庭を眺めながら。

延寿閣別館

丸亀城 城泊 滞在モデル

【1日目】
人力車でお出迎え。城下町を案内
大手一の門でチェックイン
和太鼓演奏の歓迎。演奏体験
城下に時を知らせる「時太鼓」体験
天守見学（貸し切り）
延寿閣別館で「献上の儀」、夕食
夜の天守をバーラウンジに（貸し切り）

【2日目】
京極家の別邸「中津万象園」に移動
朝食、園内散策
「丸亀うちわ」作り
煎茶室「観潮楼」で煎茶のお点前体験
チェックアウト

【問い合わせ・予約】
7月1日スタート。1日1組限定。
1泊2日2名の基本料金は126万5000円（税込）。
予約は専用サイト、丸亀城キャッスル
エクスペリエンス／城泊から
https://marugame-castle.com

「扇の勾配」と呼ばれる、しなるようなカーブを描く美しい石垣も見応えがある。

知事対談 今泉 力哉 IMAIZUMI RIKIYA × 池田 豊人 IKEDA TOYOHITO

穏やかで繊細な海と映画

小豆島が大きな力をくれた映画です

知事　恋愛を描く監督として高く評価されている今泉力哉さんが、このたび香川県小豆島出身の山本崇一朗（そういちろう）さんによる人気コミック「からかい上手の高木さん」の映画のメガホンを取られました。テレビではすでにドラマの放送が始まり、映画もいよいよ5月31日に封切りですね。

今泉　今回は、小豆島の風景の中で撮影することに非常に意味がありました。映画を見ていただければ分かりますが、純粋で真っすぐな二人の話です。小豆島のあの景色の中で撮影することで、説得力が出ました。小豆島で撮影できたことが、映画の大きな魅力になったと感じています。

知事　私も映画を拝見し、心が洗われました。今お話を伺って、小豆島の海や山が借景のような役割を果たし、より二人の純粋さの描写を引き立てているのですね。瀬戸内の島々で開催される瀬戸内国際芸術祭においても、「作品の背景に海や島の風景があることで、さらに作品に魅力が生まれる」といろいろな方から言われますが、それとも重なり、風景の力のようなものを改めて感じるお話です。

今泉　映画の中に映し出される景色もそうですが、俳優たちがそれを目にして演じるという部分でも大きな影響があります。西片役の高橋文哉さんは、撮影中に仕事で一度東京に戻ったのですが、「もう東京の水が合わない」と冗談で言うくらい島の環境に魅せられていました。また、昼間は作品に集中することができ、夜は皆さん食事に出たり飲みに行ったり、私も含めてそうめんをはじめ、おいしいものを堪能しました。あと、海が象徴的ですが小豆島の穏やかさはスクリーンに映っていない部分でも大きな力を私たちに与えてくれましたね。

知事　島は独特の雰囲気がありますね。島から離れるときに、よく島の人が岸壁から手を振ってくれます。それも見えなくなるまで。温かいものが込み上げてくるというか、心に染みますね。

今泉　船の別れは絵になりますし、やはりぐっときます。撮影が終わった後、自分は後片付けがあり、一人残って岸壁でスタッフを見送りました。今回の作品のタイトルもあって私をからかうように、全員が船の上から「監督大好き！」って、そろって声を上げたものですから、もう照れくさいというか、でも、正直ぐっとくるものがありました。映画作りを続ける中で分かったのは、映画の魅力は多くの力を結集して作ることだということです。俳優やスタッフがアイデアを出しやすかったり、チャレンジできる状況を作ったり、みんなが伸び伸びとできる現場を考えています。若いスタッフたちが、「楽しかった。またやりたい」という気持ちになってほしいと意識しています。それが報われた気がしました。

知事　映画作りは独特な世界と思っていましたが、今のお話はさまざまな職場で共通することですね。私も小さな成功体験を大事にしたい。一人一人が「うまくいって良かった」という体験があると、またもう一度やってみたいと思えます。そういう思いを広げていきたいと常々考えています。それにしても映画では告白するかどうかがもどかしくて、見ている方がやきもきしました。終盤のシーンはいつまでも心に刻まれる名場面の一つだと思いましたね。

今泉　好きな人がなかなかできない、自分の好きという気持ちに自信が持てない、そういう方たちの感想でよく聞くのは、恋愛映画のハードルが高すぎるということです。たいてい相手を好きという前提で話が進むのですが、好きという気持ちはもっと曖昧だったり、相手の好きと自分の好きが違うんじゃないかと疑ったり、友情から踏み出す不安が大きかったり、そういう繊細な悩みがあると思います。そういうことを丁寧に映画で扱うと、知事がおっしゃってくださったように時間がたってからも心に残るのではないかと思います。

知事　映画も海も穏やかで繊細なものは、心に残るのですね。昨年はG7の都市大臣会合が高松市で開催され、各国の大臣を直島までご案内しました。もちろん直島も喜ばれたのですが、道中の船旅で歓声を上げてくださるんです。静かな海が魅力的だと口々に褒めてくださいました。監督がよく行き来された駅周辺はサンポート高松地区といって、再開発が進むエリアです。日本でもこれだけ港と駅が近接している所はまれではないでしょうか。都会的な街中のにぎわいの近くに海があり、少し足を延ばせば島があり、自然豊かな山もあります。２０２５年の春には県立アリーナが完成して、ますます駅周辺は便利になると考えています。ぜひこれをご縁に何度でも来てください。今年は瀬戸内海国立公園指定90周年にあたり記念事業もいろいろと行われます。ロケ地巡りも含め、見応えのある香川県です。今泉監督にも、ぜひ香川を巡っていただき、さらなる魅力を見いだしていただければ幸いです。本日はありがとうございました。

香川県には世界に誇る海があります

映画監督
今泉 力哉

1981年福島県生まれ。2010年『たまの映画』で商業監督デビュー。主な作品に『愛がなんだ』、『街の上で』、『ちひろさん』など。現在公開中の、香川県小豆島で全編撮影された、映画『からかい上手の高木さん』の監督を務める。

©2024映画『からかい上手の高木さん』製作委員会
©山本崇一朗／小学館

シリーズ累計1200万部突破の山本崇一朗の大人気コミック「からかい上手の高木さん」（小学館『ゲッサン少年サンデーコミックス』刊）が実写映画化。永野芽郁さんが高木さん役、高橋文哉さんが西片役で初共演。10年の時を超えて紡がれる、最高に愛おしい、初恋の物語です。

香川県知事
池田 豊人

透明な宇宙に心象風景を刻む

香川の風景に潜む命の輝き×東條裕志

ガラス工芸作家

アート県として名をはせ、漆芸の伝統を守る香川県。この地でガラス工芸作家という独自の道を歩む東條裕志さんは、作品によって漆芸のように幾重にもガラスを彫り込んでいくという。弘法大師・空海誕生の地として知られる善通寺市に工房を構える東條裕志さんを訪ね作品の魅力を探る。

ガラス工芸作家
東條 裕志

1969年香川県丸亀市生まれ。2006年サンドブラストによる硝子彫刻を始める。現在善通寺市にアトリエを構える。第1回硝子彫刻展・優秀賞受賞をはじめ、香川県美術展覧会、伝統工芸四国展、欧美国際公募コルシカ美術賞展、日本・フランス現代美術世界展、サロン・ドトーヌなど国内外の公募展で入選や受賞多数。作品の一部は、善通寺市のふるさと納税品に選ばれている。

ガラス工芸 東條
香川県善通寺市原田町663-15 TEL0877-63-4726
https://glassarttojo.wixsite.com/hiroshi

生まれも育ちも香川県の田園地帯という東條さん。その作品には自然の中の小さな命が登場する。透明な宇宙をのぞき込むと、今にも動き出しそうな虫、そよぎ出しそうなひまわり、尾びれを揺らすかのような金魚が命の輝きを詩っているようだ。

東條さんがガラス工芸を始めたのは36歳の時。東京で通常より短期間でサンドブラスト※1の技法を学び、2年もたたないうちに硝子彫刻展において優秀賞を受賞した。

心を捉えた身近な自然や生き物の美しさや力強さをどう表現するか。それも、ありのままではなく、印象を大切に幾通りもの彫り方を試してみる。命を吹き込むために、感性を研ぎ澄ま

ゴムシートに線を写し、ガラス本体に貼り付け、それを細かく切り取り、最後に金剛砂と呼ばれる粉のような砂を吹き付けて彫るサンドブラストの作業風景。東條さんの場合は切り取り作業にかなりの時間を要する。

制作を進める内に線の面白さ、線の大切さに気付いて昨年から創作が始まった「線シリーズ」。今年の新作は「めぐる(circulate)」。

し、より豊かな表現を追求し続ける。一心不乱という言葉通り、あるときはガラスの中に自らが吸い込まれるような感覚を覚えた。

アート作品を志すと、これまでとは違う視点が生まれたという。生まれた街にある丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、うごめく線の面白さにハッとし、住まいの隣町にある金刀比羅宮の奥書院※2では、伊藤若冲の作品のとりこになった。香川県に生まれ住んで、身近に刺激があふれている幸運をかみしめた。

特に若冲の命そのものを表現したようなひまわりに心打たれ、「ひまわり」が永遠のテーマになったという。まんのう町のひまわり畑※3にも幾度か足を運び、特にコロナ禍では、ひっそりとこもってしまった人々を尻目に、生き生きと命を輝かせるひまわりに励まされ、教えられたと振り返る。

東條さんはガラス工芸のみならずユーモアあふれるイラストも描く。人を癒やし、笑顔にする作品を作りたいと願っているからだ。ジャンルを問わず自由に表現し続けていきたいと今後を語る東條さん。それでも「最後はガラスに帰ってきますよ」と愛情の深さをのぞかせる。その愛すべき作品たちを携えて、パリでの個展も夢の一つという。2020年、21年は、フランスのパリで毎年秋に開催される「サロン・ドトーヌ」で連続入選を果たした。同展は藤田嗣治や東郷青児らが入選した歴史ある展覧会だ。「香川に住んでいなければ私の作品は生まれなかった」と語る東條さん。繊細でありながら力強さを感じさせる讃岐生まれの命の輝きが、世界を魅了する日が待ち遠しい。

桜の花びらが舞い散る水辺に目覚めたばかりの金魚が泳ぐさまを春の訪れとして表現した「春便り」。(2023年伝統工芸四国展入選作品)

※1 圧縮した空気によって硬質の砂をガラスの表面に吹き付けて削るガラス工芸の技法。
※2 通常は非公開。最近では2023年に特別公開が行われた。
※3 香川県まんのう町帆山地区では最盛期には約100万本といわれるひまわりが開花、7月にひまわり祭りが開催される。

若冲のひまわりがモチーフとなり、まんのうのひまわり、民家の庭に咲くひまわりを印象風景として創作した。花びらの一枚一枚を丁寧に彫り出している。(2018年欧美国際公募スペイン美術賞展・推薦作品)

子どもの頃追いかけていたカブトムシをはじめ虫たちを彫った「群虫図」の一部。(2020年サロン・ドトーヌ入選作品)

香い・愛媛

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN

せとうち旬彩館 東京・新橋アンテナショップ

特産品ショップ、かおりひめ、観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

注目はこれ!

1F せとうち旬彩館の人気商品をご紹介!

「特産品ショップ」では、香川・愛媛合わせて約1,500点の特産品を取り扱っています。今回は、2023年度の香川の特産品の人気商品ベスト5をご紹介します。

1位 希少糖芋けんぴ（中野製菓）

2位 瀬戸内海苔はねだしお得パック（金丸水産乾物）

3位 観音寺（白栄堂）

4位 生うどん（日の出製麺所）

5位 瀬戸内レモンケーキ（ちきりや）

2F 香川県人限定 夜の特別コース「盛り込みコース」（3,500円/人）を引き続き、提供中!

「かおりひめ」では、3月25日から夜のグランドメニューをリニューアルしましたが、香川県出身者など香川にゆかりのある方限定の特別コースは、引き続き提供しています。讃岐うどんはもちろん、オリーブ牛やお刺身、しょうゆ豆、讃岐天ぷらなど、香川尽くしの料理が楽しめます。17時以降のディナータイムに3名以上のグループに限りご利用いただけます。前日までにご予約ください。

※写真はイメージです

盛り込みコース

- ◇本日のお通し
- ◇おばんざい3種盛り
- ◇地海老と若布のサラダ
- ◇お刺身4種盛り
- ◇オリーブ牛の赤身ステーキ
- ◇地魚の照り焼き
- ◇真だこの唐揚げ
- ◇地魚の天ぷら
- ◇季節の煮物
- ◇讃岐うどん
- ◇本日のデザート

ぜひ、この機会にご来店ください。

予約電話 03-5537-2684

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1・2階
https://www.setouchi-shunsaikan.com
観光情報コーナー TEL03-3574-2028

花いけにかける高校生を応援してください!

「高校生花いけバトル」へのガバメントクラウドファンディングを募集

高校生2人組のバトラーが花をいけ、対戦する。即興で花をいける、その時間はわずか5分間。「全国高校生花いけバトル」は、流派、所属、部活動などの枠を超え、高等学校に在籍している生徒の皆さんならどなたでも参加することができる大会です。

今回「第八回全国高校生花いけバトル」を開催するにあたり、一般の皆さまにも寄付を通じて運営に参加いただき、大会を盛り上げるとともに、花への関心を高めていただきたいとの思いから、ガバメントクラウドファンディングによる支援をお願いすることとしました。

香川大会は2024年8月17日（土）、サクラートたどつで、全国大会は2025年2月2日（日）、レクザムホール小ホールで開催されます。（大会詳細：https://hs.hanaikebattle.com/）

次代を担う高校生たちの、花いけにかける青春を応援してください!

【ガバメントクラウドファンディング申込方法】
下記アドレス、または二次元コードから申し込んでください。
（募集期間：2024年8月1日（木）～10月30日（水））
https://www.furusato-tax.jp/gcf/?top_gcf_gcf

【問い合わせ】
全国高校生花いけバトル実行委員会事務局
TEL087-832-3419

お庭の国宝で、人間国宝らによる幽玄の世界

「栗林公園薪能（たきぎのう）」、23年ぶりの開催

歴代藩主もたしなんだ能楽。10月3日（木）、かつて藩主の下屋敷があった特別名勝 栗林公園の檜御殿跡において薪能を催します。能楽界を代表する茂山七五三（しげやま しめ）氏、大倉源次郎氏（いずれも人間国宝）ほか豪華な顔ぶれの出演者が、新月の夜の大名庭園の風韻と演目を融合させ、観るものを幽玄の世界へと誘います。

詳細はこちら

【問い合わせ】香川県栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411
※チケット購入の問い合わせは、香川県県民ホールサービスセンターTEL087-823-5023

香川県のブログ始めました!

ウェブサイト「note」で香川の魅力を発信中!

香川県は今春、「note」で公式アカウントを開設。県内の観光スポットや県民の皆さまの活動など、香川の魅力や最新情報を発信しています。記事では、文章や写真のほか、動画も掲載していますので、ぜひフォロー、スキ、コメントをお願いします!

香川県公式noteはこちら

【問い合わせ】
香川県広聴広報課 TEL087-832-3019

さぬき野 夏 No.85 令和6年6月15日発行
企画・発行：香川県広聴広報課
編集・制作：（株）中国四国博報堂

先日ドライブで海へ行くと、穏やかな瀬戸内海の海辺で食事を楽しみながらにぎわう地元の方々の笑顔を見つけました。ぜひこの夏瀬戸内海で、皆さまにとって心が動く出会いを探してみてはいかがでしょうか。

編集長

香川を盛り上げるやぁん

「ヤドンパラダイス in 香川 2024」

今年も「うどん県PR団」として活躍中のポケモンの「ヤドン」が香川県を盛り上げます。

現在開催中の「ヤドンパラダイス in 香川 2024」では「ヤドンといっしょ！香川めぐり旅」として、ヤドンと関係する宿泊施設や公共交通機関（「ヤドンのお宿」や「ヤドンのタクシー」など）と寒霞渓（かんかけい）や栗林公園といった県内の観光スポットを巡るスタンプラリーを開催中です。スタンプを集めて応募すると、抽選で豪華賞品が当たります。

この他にも、イベントなども開催予定です。詳細については特設サイト及び公式Xをご確認ください。

特設サイト　公式X

【問い合わせ】（公社）香川県観光協会 TEL087-832-3379
特設サイト：https://yadon.my-kagawa.jp
公式X：https://twitter.com/Udonken_Yadonbu

「トカイナカがわ」に住んでみまい

香川県移住フェアin東京2024

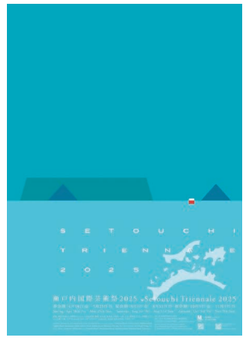
都会と田舎の良さが詰まった「トカイナカがわ」での暮らしを始めませんか？香川県内全ての市町が集結する、1年間で最大規模の県移住フェアを東京で開催します！先輩移住者のセミナーや豪華景品が当たるシールラリーなどイベント盛りだくさんなので、お気軽にご参加ください！

【日時】7月7日（日）10時～16時（予定）
【会場】東京交通会館12階カトレアサロンA
【問い合わせ】香川県地域活力推進課 TEL087-832-3125

イベント情報

アートがつなぐ島の物語を巡る。

瀬戸内国際芸術祭2025



瀬戸内国際芸術祭2025が、来年4月に開幕を迎えます。会場エリアが広がり、ロゴをリニューアルしました。さらに、出展作家/プロジェクト（一部）や先行ビジュアルを発表。デザインは、日本デザインセンター・原研哉によるもので、瀬戸内や香川に特徴的な、おむすび形やテーブル形の島をモチーフにしたものです。

また、2024年度、島々の作品を特別公開します。今回お知らせするのは、女木島、男木島、大島の公開です。美しい瀬戸内の風景とともに、心に残るアート体験をぜひお楽しみください。

【開催概要】
会期｜2025年4月18日開幕 全107日間
会場｜瀬戸内の島々と沿岸部（全17エリア）
【全会期】直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港エリア、宇野港エリア
【春会期】瀬戸大橋エリア
【夏会期】志度・津田エリア、引田エリア
【秋会期】本島、高見島、粟島、伊吹島、宇多津エリア
参加作家/プロジェクト（2024年3月26日時点）｜安藤忠雄/「直島新美術館（仮称）」・GREEN SPACE・広島市立大学アートプロジェクト（仮称）・ホンマタカシ・Sarah Hudson（サラ・ハドソン）・鴻池朋子・きゅうかくうしお・林舜龍（リン・シュンロン）・松井えり菜・中堀海都＋平田オリザ・中﨑透・大西麻貴＋百田有希/o+h・塩田千春

【2024年作品公開】

《女木島》
大竹伸朗「女根／めこん」、
依田洋一朗「ISLAND THEATRE MEGI『女木島名画座』」、
レアンドロ・エルリッヒ「不在の存在」、ニコラ・ダロ「ナビゲーションルーム」

《男木島》
村山悟郎「生成するドローイング―日本家屋のために2.0」、
川島猛とドリームフレンズ「瀬戸で舞う」、
大岩オスカール「部屋の中の部屋」、大岩オスカール＋坂 茂「男木島パビリオン」

開館日：2024年9月14日（土）～16日（月・祝）、9月21日（土）～23日（月・祝）
開館時間：《女木島》9時～16時30分、《男木島》9時15分～16時30分
鑑賞料：1作品300円（予定）

《大島》
田島征三「青空水族館」、「森の小径」、
「『Nさんの人生・大島七十年』―木製便器の部屋―」
鴻池朋子「リングワンデルング」、「物語るテーブルランナーin大島青松園」、
「浜辺の歌、月着陸、壁上り」
やさしい美術プロジェクト「稀有の触手」、「海のこだま」、
「カフェ・シヨル」大島等の食材を使ったお菓子や飲み物を提供 10時45分～15時
山川冬樹「歩みきたりて」、「海峡の歌/Strait Songs」

開館日：2024年7月13日（土）14日（日）、8月10日（土）11日（日）、9月14日（土）15日（日）、10月12日（土）13日（日）、11月9日（土）10日（日）
開館時間：10時30分～16時
鑑賞料：一部有料（全作品を鑑賞する場合、900円（予定））
【問い合わせ】香川県瀬戸内国際芸術祭推進課 TEL087-813-0853

公式HP　公式Instagram

（注）掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。